

京都の文化を身近に感じていただく例会です！

講師の八木先生は、民俗学者として祭礼・信仰・民俗芸能のご研究と、祇園祭山鉾巡行および五山送り火の時期には解説者としてテレビにご出演など、多方面でご活躍されています。

日本の伝統的な建築では空間を区切ること、結界（境界）が重要な役割を果たしてきました。鬼は境界に現れる存在で、平安京や都市計画にも大きく関係しています。

今まで見ていた何気ない景色が変わるかも、お客様や社員さんと話せる話題が増えるかも、新しい京都の魅力を一緒に楽しみましょう。

■日時：9 月 18 日(木) 18 時半～20 時 30 分

* 18 時受付

■場所：京都経済センター4-F

■参加費：6,000 円予価（懇親会費として）

例会のみ無料

■講師：八木透氏（佛教大学歴史学部教授）

□プロフィール：

1955 年(昭和 30)年 祇園祭鉾町の家系に生まれる。京都生まれの京都市育ち 生粋の京都人
同志社大学文学部卒業 佛教大学大学院博士後期課程修了 文学博士 専門は民俗学
世界鬼学会会長、京都民俗学会会長、京都府および京都市文化財保護審議委員 多数歴任

『婚姻と家族の民俗的構造』（吉川弘文館）、『男と女の民俗誌』（吉川弘文館）、『京のまつりと祈りーみやこの四季をめぐる民俗』（昭和堂）、『日本の民俗信仰を知るための 30 章』（淡交社）など、著書多数

